

事業説明シート

事業名	まんが王国発ソフトパワー事業	担当部	文化観光スポーツ局
		担当課	まんが王国官房
実施根拠		開始年度	平成24年度
目的等	<p>【背景】 まんがで地域を元気にするため、平成24年に「まんが王国とっとり」を建国し、「国際まんが博」「国際マンガサミット」を開催した。この盛り上がり定着・浸透させるため、引き続きまんがによる地域づくりを進める必要がある。</p> <p>【目的】 まんがの力、すなわち「国内外から人を惹きつける力」「わかりやすく伝える力」「人の心を豊かにする力」「産業を興す力」を活用し、観光、文化、産業の振興を図り、交流人口増と定住人口増を通じて地域活性化を促進する。</p> <p>【成果目標】 ・一度は訪れたい「まんがの聖地」として確立し、国内外から継続して多くの観光客が訪れる。 ・まんがが地域の文化として定着し、様々な場面でのまんがの活用が進むとともに、まんがへの造詣が深い県民が多くなる。 ・コンテンツ産業が集積し、地域経済の活性化と雇用の拡大が進むとともに、多くのクリエイターを輩出する。</p> <p>【県が実施しなければならない理由】 対外的な情報発信力を高めるためには、全県的な取組が必要であり、これまで、大型イベントを県が主導してきた。今後は、地元の頑張りを応援することでトータルとしての鳥取県の「まんがの聖地」としてのイメージが作られるよう、積極的に市町村や民間等と連携して取り組む。なお、観光面では、自然、温泉、食などに本県ならではの魅力として“まんが”を加えることで他府県等との差別化を図る戦略であり、引き続き県が果たすべき役割は大きい。</p>		
	対象 (サービス受給者)	鳥取県民	
事業概要	事業内容 (手段・手法)	<p>1 観光振興 (1) インパウンドの促進・・・海外まんが博覧会出展 (2) 旅行商品の造成等観光誘客・・・リアル宝探し「神話の国の秘宝伝」の実施、名探偵コナンまつりの開催、JTB鬼太郎タイアップ旅行商品造成、食・観光等のマンガ雑誌発行（出版社との連携） (3) 市町村支援等による拠点整備・・・補助事業（境港市、北栄町等のまちづくり支援） (4) 民間イベントの育成・支援・・・補助事業（米子映画事変、ゆるキャラカップ等の支援） (5) ロケ地巡り等の推進・・・岩美町、琴浦町等のまちづくり支援 (6) コスプレの聖地づくり・・・コスプレ聖地化可能性調査 (7) 他地域等との連携・・・国際マンガサミットへの参加、首都圏での「まんが王国会議」の開催（高知県連携）、まんが甲子園交流試合の開催（高知県連携）、明治大学との連携</p> <p>2 文化振興 (1) 作品の発表・鑑賞機会の拡大・・・国際マンガコンテストの実施、ひとこまマンガ展の開催 (2) 様々なものへのまんがの活用・・・「まんが王国とっとり通信」の発行 (3) まんがに親しむ風土醸成・・・補助事業（幼児と高齢者のアートセラピー） (4) まんが関連活動支援・・・「琴浦さん」とのタイアップ事業支援 (5) 教育等まんが文化の裾野拡大・・・補助事業（小学校マンガ教室等の開催等）</p> <p>3 産業振興 (1) マンガ家の育成・定住促進 (2) まんがが需要の拡大とマッチング・・・補助事業（県内漫画家活動支援） (3) コンテンツ産業の振興支援・・・コンテンツビジネスサロンの開催 (4) コンテンツ産業の企業誘致・・・グッドスマイルカンパニーの誘致（立地戦略課） (5) 地域発コンテンツの創造・活用・・・山陰コンテンツビジネスパーク協議会との協働</p> <p>4 その他・・・漫画家・クリエイター等との意見交換、市町村と連携した情報発信</p>	
	目的達成に向け、上記の手段・手法を選択した理由	<p>1 観光振興 ・まんがの持つ「国内外から人を惹きつける力」を活用し、海外で開催されている集客力のあるイベントに出展したり、他地域等との連携による相乗効果を図りながらイベントを実施したりすることによって、取材メディアと来場者を通じた世界における「まんが王国とっとり」の認知度向上を図る。 ・本県出身の世界的に著名な漫画家（水木しげる先生、谷口ジロー先生、青山剛昌先生）の作品の人気を活用した受地の魅力づくりによって、観光入込客数の増加を図る。 ・まんがを活用した市町村・民間の活動を支援することで、県、市町村、民間が丸となった「まんが王国とっとり」の国づくりを促進する。</p> <p>2 文化振興 ・まんがの持つ「わかりやすく伝える力」を活用し、県政広報にまんがが独特の表現を採用し、理解度向上を図る。 ・まんがの持つ「人の心を豊かにする力」を活用し、生活のさまざまな場面で県民がまんがに親しむ機会を設けて、県民生活の向上を図る。</p> <p>3 産業振興 ・まんがの持つ「産業を興す力」を発揮させるため、関係者の情報交換や意見交換の機会を設けて、アイデアの創出を図る。 ・まんがの持つ「産業を興す力」によって、コンテンツ産業の振興を図る。</p>	
事業の実施方法 (国、市町村などを含めて、当該事業を進める上で の手続きを記載)	<p>1 市町村・民間団体等との連携 まんが王国とっとり国家戦略プロジェクト推進補助金等による財政支援。</p> <p>2 関係部局との連携 県が直接実施する事業は、観光、文化、産業等関係部局と連携。</p> <p>3 県外との連携 まんが王国同士で“友好通商条約”を締結し、高知県と連携（岩手県にも拡大）。 明治大学、日本漫画家協会等専門機関との連携。</p>		
※フローチャート式による記載も可			

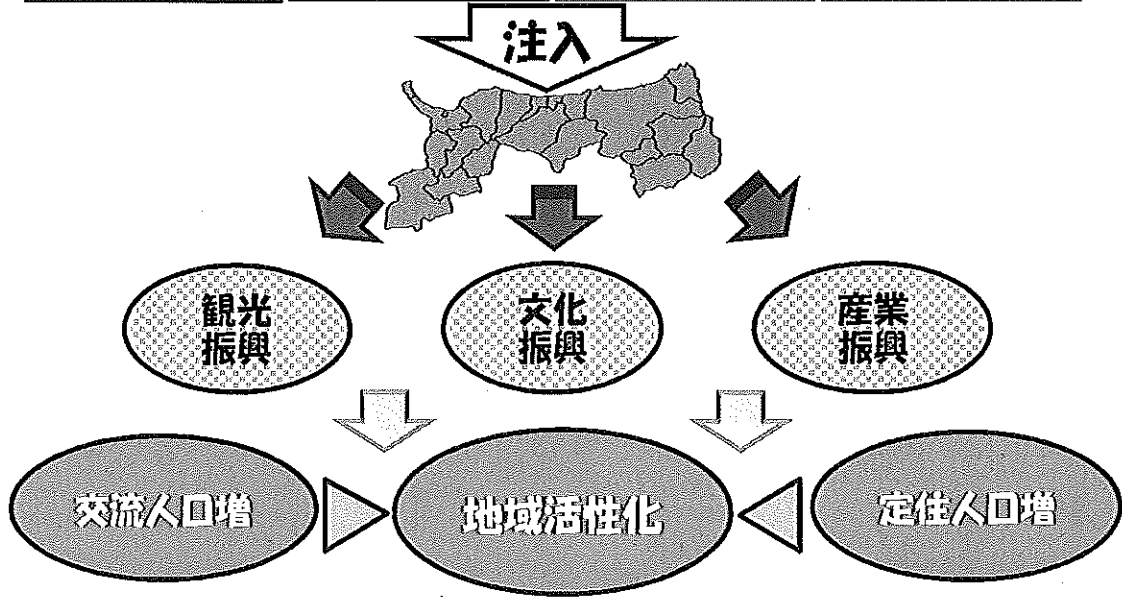
26年度 予算額	事業費	247,793千円	(財源内訳)	国庫支出金	その他	一般財源																																																						
				50,057	191,033	6,703																																																						
	トータル コスト	286,488千円	[正職員：5人、非常勤職員：3人]																																																									
決算額	年度	事業費		国庫支出金	その他	一般財源																																																						
	25年度	279,256千円	(財源内訳)	43,507	229,839	5,910																																																						
	24年度	1,002,106千円	(財源内訳)	291,033	669,338	41,735																																																						
	23年度	-千円	(財源内訳)	-	-	-																																																						
これまでの 事業実績	<p>1 平成24年度「国際まんが博」「国際マンガサミット」、平成25年度「まんが博・乙(おつ)」の開催 ○平成24・25年度：水木しげる・谷口ジロー・青山剛昌各先生ゆかりのイベント、明治大学連携企画展、ヒトコマまんが展等 ○平成24年度：とっとりまんがドリームワールド、REVIVAL萬画の国いしのまき展等 ○平成25年度：アニメ50年展、名探偵コナンアクションパーク等</p> <p>2 市町村・民間団体等による取組への支援 (1) 拠点活用推進事業(平成24年度【定額】5件/平成25年度【補助率1/2】5件) (2) 戦略プロジェクト事業(平成24年度【定額】13件/平成25年度【補助率2/3】6件) (3) 協働推進事業(平成24年度【補助率1/2】54件/平成25年度【補助率1/2】11件) (4) 地域イベント開催支援事業(平成24年度【定額】4件/平成25年度【定額】4件) (5) まんが・アニメ活用トライアル事業(平成24年度【定額】52件) (6) 県内漫画家育成支援事業(平成25年度【定額】1件)</p> <p>3 国際マンガコンテストの開催(平成24年度～)</p> <p>4 海外まんが博覧会等への出展・参加</p> <p>5 高知県との連携(平成24年度～)</p>																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標名</th> <th>単位</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海外まんが博覧会等出展エリア</td> <td>地域</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>補助金交付件数</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>128</td> <td>27</td> <td>20(予定)</td> </tr> </tbody> </table>						活動指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	海外まんが博覧会等出展エリア	地域	-	3	3	5	補助金交付件数	件	-	128	27	20(予定)																																				
活動指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度																																																							
海外まんが博覧会等出展エリア	地域	-	3	3	5																																																							
補助金交付件数	件	-	128	27	20(予定)																																																							
主な活動実績 (活動量の指標)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国人県内延べ宿泊者数(暦年)</td> <td>人</td> <td>25,160</td> <td>32,280</td> <td>36,910</td> <td>未集計</td> </tr> <tr> <td>水木しげる記念館入館者数(外国人【一般】)</td> <td>人</td> <td>2,325 [3,148,590]</td> <td>4,184 [2,725,112]</td> <td>4,881 [2,885,306]</td> <td>未集計</td> </tr> <tr> <td>青山剛昌ふるさと館入館者数(外国人【一般】)</td> <td>人</td> <td>4,502 [68,070]</td> <td>5,731 [92,727]</td> <td>3,645 [74,480]</td> <td>未集計</td> </tr> <tr> <td>岩美町観光会館来館者数(7～3月)</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>4,584</td> <td>8,254</td> <td>未集計</td> </tr> <tr> <td>岩美町レンタサイクル利用者(7～3月)</td> <td>人</td> <td>-</td> <td>281</td> <td>1,336</td> <td>未集計</td> </tr> <tr> <td>国際マンガコンテスト応募地域・者数</td> <td>地域・人</td> <td>-</td> <td>9・691</td> <td>15・520</td> <td>15・539</td> </tr> <tr> <td>コンテンツ産業の立地</td> <td>件</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>鳥取県に対するイメージ調査(見聞きしたことのある話題)</td> <td>-</td> <td>4.6%</td> <td>13.4%</td> <td>9.7%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	外国人県内延べ宿泊者数(暦年)	人	25,160	32,280	36,910	未集計	水木しげる記念館入館者数(外国人【一般】)	人	2,325 [3,148,590]	4,184 [2,725,112]	4,881 [2,885,306]	未集計	青山剛昌ふるさと館入館者数(外国人【一般】)	人	4,502 [68,070]	5,731 [92,727]	3,645 [74,480]	未集計	岩美町観光会館来館者数(7～3月)	人	-	4,584	8,254	未集計	岩美町レンタサイクル利用者(7～3月)	人	-	281	1,336	未集計	国際マンガコンテスト応募地域・者数	地域・人	-	9・691	15・520	15・539	コンテンツ産業の立地	件	-	2	0	1	鳥取県に対するイメージ調査(見聞きしたことのある話題)	-	4.6%	13.4%	9.7%	-
	成果指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度																																																						
外国人県内延べ宿泊者数(暦年)	人	25,160	32,280	36,910	未集計																																																							
水木しげる記念館入館者数(外国人【一般】)	人	2,325 [3,148,590]	4,184 [2,725,112]	4,881 [2,885,306]	未集計																																																							
青山剛昌ふるさと館入館者数(外国人【一般】)	人	4,502 [68,070]	5,731 [92,727]	3,645 [74,480]	未集計																																																							
岩美町観光会館来館者数(7～3月)	人	-	4,584	8,254	未集計																																																							
岩美町レンタサイクル利用者(7～3月)	人	-	281	1,336	未集計																																																							
国際マンガコンテスト応募地域・者数	地域・人	-	9・691	15・520	15・539																																																							
コンテンツ産業の立地	件	-	2	0	1																																																							
鳥取県に対するイメージ調査(見聞きしたことのある話題)	-	4.6%	13.4%	9.7%	-																																																							
主な成果実績 (目的の達成度を図る物差し)	<p>1 建国以来の取組により「まんが王国とっとり」の認知度は高まりつつある。この結果、外国人観光客(主に韓国、台湾)の増加、広報等におけるまんが表現の活用(漫画故事成語、みさき子育てスタイル)、コンテンツ産業の立地(グッドスマイルカンパニー)などで成果がみられる。今後は、まんが王国とっとりが目指す姿や取組の意義、これまでの取組成果・実績などをわかりやすく県民に発信していく。</p> <p>2 建国時は、まんが王国と通りの国づくりを当官房が主導してきたが、今後はそれに加えて当官房がコーディネートをしなが、観光、教育、商工分野等関係機関と連携して取り組み、地域活性化へとつなげていく。</p> <p>3 建国以来、国際まんが博、国際マンガサミット、まんが博・乙と大型イベントを実施し、また、民間、市町村等によるまんがに関連した補助事業を実施してきた。まんが王国と通りとして、そのイベントを一過性のもので終わらせず、地域・地元に着目し、地域活性化へとつながるものにしていかねばならない。</p> <p>4 そのためにも、やっとなってきた民間の芽が無事育ち、自立していけるフォローが必要である。併せて、従来の市町村の取組(境港市、北栄町)がより充実し、また、新たな市町村の動き(岩美町、琴浦町など)も応援していく。</p>																																																											
	<p>事業の自己評価 (今後の方向性、課題等)</p>																																																											
特記事項																																																												

※シートは2ページにわたっても可

まんが王国とっとり国づくりビジョン

まんが王国がめざすもの

まんがの力			
国内外から人を惹きつける力	わかりやすく伝える力	人の心を豊かにする力	産業を興す力



まんが王国の将来像とアプローチ

	観光振興	文化振興	産業振興
STEP1	<ul style="list-style-type: none"> 大型イベント開催 メジャーコンテンツの活用 	<ul style="list-style-type: none"> まんがの力への気づき 様々な場面でのまんがの活用、浸透 	<ul style="list-style-type: none"> 既存関連分野の活性化 人材育成、起業支援、販路開拓
STEP2	<ul style="list-style-type: none"> 海外出展 拠点の整備充実 新たな聖地の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> まんがが文化として定着 マンガ家等クリエイターの輩出する風土の形成 	<ul style="list-style-type: none"> 地域発コンテンツの創造・活用 関連産業の立地
STEP3	<ul style="list-style-type: none"> 地域発コンテンツの活用 まんがの聖地としての充実 		<ul style="list-style-type: none"> コンテンツ産業の集積
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 一度は訪れたい「まんがの聖地」として確立し、国内外から継続して多くの観光客が訪れる ➢ まんがが地域の文化として定着し、様々な場面でのまんがの活用が進むとともに、まんがへの造詣の深い県民が多くなる ➢ コンテンツ産業が集積し、地域経済の活性化と雇用の拡大が進むとともに、多くのクリエイターを輩出する 		



将来像実現に向けてやるべきこと

将来像	基本施策
<p>〔観光〕 一度は訪れたい「まんがの聖地」として確立し、国内外から継続して多くの観光客が訪れる</p>	<p>チャレンジ1 知名度の高いまんがを活かした海外プロモーションにより、インバウンドの促進を図ります</p>
	<p>チャレンジ2 まんがを活用した旅行商品造成を促進し、観光客の増加を図ります</p>
	<p>チャレンジ3 まんがを活かしたまちづくりに取り組む市町村を積極的に支援し、王国の拠点整備を進めます</p>
	<p>チャレンジ4 王国の核となるような民間イベントを育成・支援します</p>
	<p>チャレンジ5 ロケ支援等により、新たな王国ゆかりの作品を活かしたロケ地巡りを進めます</p>
	<p>チャレンジ6 コスプレに対する王国国民の理解を深め、王国内全域をレイヤーの聖地とします</p>
	<p>チャレンジ7 まんが王国・土佐との友好通商条約を継続するとともに、王国の外交関係を拡大します</p>
<p>〔文化〕 まんがが地域の文化として定着し、様々な場面でのまんがの活用が進むとともに、まんがへの造詣が深い県民が多くなる</p>	<p>チャレンジ1 国際マンガコンテストを継続・拡充するほか、作品の発表機会や鑑賞機会を拡大します</p>
	<p>チャレンジ2 各種印刷物や看板、公共交通の外装など様々なものにまんがやマンガ表現を活用します</p>
	<p>チャレンジ3 マンガを気軽に読める環境や、まんがが教室等による描く機会を拡大し、王国国民がまんがに親しむ風土を作ります</p>
	<p>チャレンジ4 王国国民が取り組むまんが関連イベントや活動を積極的に支援します</p>
	<p>チャレンジ5 教育でのまんがの活用を進めるなど、まんが文化を支える裾野を広げます</p>
<p>〔産業〕 コンテンツ産業が集積し、地域経済の活性化と雇用の拡大が進むとともに、多くのクリエイターを輩出する</p>	<p>チャレンジ1 王国全体がトキワ荘といえるような、マンガ家を目指す人々が集い、切磋琢磨して研鑽を積む環境を整え、マンガ家の育成、定住を促進します</p>
	<p>チャレンジ2 まんが制作の需要を喚起して仕事を増やし、ビジネスマッチングを進めます</p>
	<p>チャレンジ3 人材育成、起業化、販路開拓等を支援し、マンガ、アニメ、映像、音楽、デザインなどのコンテンツ産業の振興を図ります</p>
	<p>チャレンジ4 コンテンツ産業関連の企業誘致に努めます</p>
	<p>チャレンジ5 まんが王国とつとり発コンテンツを創出・活用を進めます</p>

「まんが王国とっとり国づくりビジョン」将来像及び基本施策に基づく実施事業

将来像	基本施策	実施事業	
		26年度(今年度)	予算額(千円)
1 観光振興 一度は訪れたい「まんがの聖地」として確立し、国内外から訪れて多くの観光客が訪れる	1-1 インバウンドの促進	・海外まんが博覧会出展(仏、香港、台湾、韓国) ・(海外観光展への出展:観光戦略課)	21,185
	1-2 旅行商品の造成等観光誘客	・リアル宝探し「神話の国の秘宝伝」の実施 ・名探偵コナンまつりの開催 ・JTB鬼太郎タイアップ旅行商品造成 ・食・観光等の漫画雑誌発行(KADOKAWA、ライド社)	27,000 10,000 9,000 9,976
	1-3 市町村支援等による拠点整備	・境港市のまちづくり支援(記念館ウエルカムロード設置) ・北栄町のまちづくり支援(コナン通りオブジェ設置等) ・ガイナックスシアター実施事業支援 ・アルファビル実施事業支援	32,000
	1-4 民間イベントの育成・支援	・米子映画事業開催支援 ・アニカルまつり開催支援 ・中華コスプレ開催支援 ・ゆるキャラカップ開催支援 ・トットリアニソングダンス3グランプリ決定戦開催支援 ・青山剛昌先生と話そうDAY2015開催支援 ・よなご映像フェスティバル開催支援 ・えるもーるポップカルチャーフェスティバル開催支援	20,000 4,000 4,000 4,000 5,000 — — — —
	1-5 ロケ地巡り等の推進	・岩美町のまちづくり支援(「Free!」) ・琴浦町のまちづくり支援(「琴浦さん」) ・観光情報番組「名場面発見! マンガとっとり」制作	2,000 2,000 —
	1-6 コスプレの聖地づくり	・コスプレ聖地化可能性調査(観光事業団委託)	1,547
	1-7 他地域等との連携	・国際マンガサミットへの参加 ・ニコニコ超会議3への参加 ・首都圏での「まんが王国会議」の開催 ・まんが甲子園交流試合の実施 ・明治大学との連携(県内施設クリニックほか)	5,810 0 9,840 3,000 5,613
		計	175,971
2 文化振興 まんがが地域の文化として定着し、様々な場面でまんがの活用が進むとともに、まんがの造詣が深い県民が多くなる	2-1 作品の発表・鑑賞機会の拡大	・国際マンガコンテスト開催 ・ヒトコママンガ展	13,558 6,340
	2-2 様々なものへのまんがの活用	・郷土の偉人紹介パンフ作成(倉吉市、日南町) ・市町村営バスラッピング(境港市、岩美町) ・商品、ノベルティ等へのキャラクター検利用(琴浦町) ・「まんが王国とっとり通信」の発行 ・まんが手話言語条例PR事業 ・まんがによる外国人おもてなし事業 ・まんが王国とっとり演劇演出事業	5,000 — — 2,160 2,361 3,188 6,681
	2-3 まんがに親しむ風土醸成	・幼児と高齢者のアートセラピー(北栄町)	—
	2-4 まんが関連活動支援	・「琴浦さん」とのタイアップ事業支援(琴浦町)	0
	2-5 教育等まんが文化の裾野拡大	・「こじせいご君」紙芝居小学校巡回 ・小中学校マンガ教室等の開催(北栄町)	— —
		計	39,288
3 産業振興 コンテンツ産業が集積し、地域経済の活性化と雇用の拡大が進むとともに、多くのクリエイターを輩出する	3-1 マンガ家の育成・定住促進		
	3-2 まんがが需要の拡大とマッチング	・県内漫画家活動支援(楢くひと) ・まんが王国とっとり秋葉原倶楽部運営支援	500
	3-3 コンテンツ産業の振興支援	・コンテンツビジネスサロンの開催 ・(コンテンツビジネスチャレンジ補助金:産業振興室) ・(コンテンツ産業販路拡大等支援事業補助金:産業振興室)	1,690
	3-4 コンテンツ産業の企業誘致	・(グッドスマイルカンパニーの誘致:立地戦略課) ・(コンテンツ・事務管理関連雇用事業:立地戦略課)	
	3-5 地域発コンテンツの創造・活用	・(ネギマンを起用した県政広報CM制作:広報課)	
		計	2,190
4 事務費等		・漫画家・クリエイター等との意見交換 ・市町村と連携した情報発信 ・非常勤職員人件費 ・事務費等	1,601 6,000 6,719 16,024
		合計	247,793

※ 青字は他部局実施事業

まんが関連施策の予算投入額と成果

1 予算投入額「まんが王国発ソフトパワー事業」 (単位：千円)

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
当初予算額	970,913	306,310	247,493
H24対比	100	32	25
取組内容	大型イベント ○国際マンガサミット鳥取大会(78,000) ○国際まんが博 ・常設展・巡回展等 (654,000)	○まんが博・乙(93,376)	
	支援 ・市町村・民間団体等の取組支援(100,000)	○市町村・民間団体等の取組支援(92,000)	○元気のある地域の支援(83,338)
	連携・PR ・他県・団体等との連携・広報宣伝(102,000) ○まんが王国PR (14,303)	○他県・団体等との連携・広報宣伝(87,882)	○他県・団体等との連携・広報宣伝・イベント(113,764)
	その他 ○その他(22,610) ・国際マンガコンテスト等	○その他(33,052) ・国際マンガコンテスト等	○まんがのあふれるまちづくり(50,691) ・手話条例・外国人おもてなしリーフレット作成 ・国際マンガコンテスト等
事業効果	海外インバウンド促進への寄与 香港・台湾からの国際チャーター便の周遊コースに「国際まんが博」が組み込まれた結果、平成24年における外国人の県内の宿泊者数は、香港・台湾は、それぞれ対前年比298.2%(1,670名)、229.1%(6,460名)に大幅に増加 国際まんが博開催以降、「名探偵コナン」を活用したまちづくりが本格化(北栄町) 「県政だより」をはじめ、庁内各所属の発行する印刷物に分かりやすいマンガの活用が増加 デジタルハリウッド STUDIO 米子、スターが米子市に進出 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> 見聞きしたことがある話題「まんが王国とっとり」 </div>	海外インバウンド促進への寄与 米子鬼太郎空港では、14年ぶりの運航となった香港インバウンドチャーター便では、ツアー立ち寄り先として鬼太郎列車が組み込まれ、香港からの観光客の人气が非常に高かった。(97%が高評価) ・運航便数 24往復 22便(鳥取・米子空港において年間最高の便数) ・乗客数 3,283名(鳥取・米子空港において年間で圧倒的第1位の乗客数) ・平均搭乗率 86.8%(目標搭乗率85%を達成) 平成25年、水木しげるロードの観光客が3年振りに増加(283万人) アニメ「Free!」のロケ参考地・岩美町の賑わい アニメ「琴浦さん」とタイアップした取組が継続 「まんが王国とっとり秋葉原倶楽部」の開設	海外インバウンド促進への寄与 昨年度に引き続き、香港インバウンドチャーター便18往復の運航が決定 米子ガイナックスが米子市に設立登記 フィギュア製造会社が倉吉市に進出 くさか里樹先生のマンガ「ヘルプマン!」を認知症予防の啓発に活用
鳥取県に関するイメージ調査	平成24年度 2位(13.4%) (前年度 7位(4.6%))	平成25年度 4位(9.7%)	—

国際まんが博開催結果について

平成24年11月28日

まんが王国官房

1. 国際まんが博の開催結果

<概括>

- ・8月4日から11月25日までの114日間、県下全域で「国際まんが博」を開催し、県と市町村、民間団体が一体となって県内各地でまんがやアニメを題材としたイベントを実施した。期間中の来場者総数は約320万人であり、当初の目標を少し上回った。
- ・「国際まんが博」の中核的なイベントである「とっとりまんがドリームワールド」は東部・中部・西部を巡回して開催したが、その来場者は約22万人であり、多くの子ども連れの家族や若者で賑わった。また、来場者の約3割が県外からの来場者であった。
- ・「国際マンガサミット鳥取大会」は約4万人の来場者があり、公開アトリエやサイン会などを通じて国内の著名なまんが家との交流や新たに開発した食のイベントなどを楽しんでいた。また、海外から参加されたまんが家の方々にも米子の万灯や皆生温泉など日本文化を体験いただき、鳥取の魅力を実感していただいた。

<まちおこし、観光振興>

- ・鳥取市では、国際まんが博期間中、鳥取市出身の谷口ジローさんをテーマにしたイベントが多数開催された。中でも、11月中旬には谷口ジローさんの帰郷の機会をとらえ、原画展示、フランス映画「遙かな町へ」の上映会、本人を交えた座談会などが開催され街が盛り上がった。
- ・北栄町では、「国際まんが博」を契機に「コナンを生かしたまちづくり」を官民あげて取り組もうという機運が盛り上がり、地元の関係者で組織する実行委員会が立ち上がった。その結果、コナンナイトウォークなど新しい取組みが始まるとともに、コナン通りに地元の方が新たに飲食店を開設するなど今後の展開が期待される。なお、青山剛昌ふるさと館の入館者も対前年比約5割増と好調であった。
- ・米子市では、11月1日から11日までの間、「米子ワンダー」と銘打ち、第2次米子映画事変、ネギ来まつり、エルモールポップカルチャーフェスティバルなどまんがやアニメを題材にした様々なイベントを各主催者が一つにつながって開催され、街に賑わいを生んだ。関係者の間では来年以降も「米子を賑やかに」を合い言葉に連携を図ることとしており、今後の展開が期待される。
- ・10月から始まった山陰デスティネーションキャンペーンとの相乗効果で特急列車の乗車率が対前年比で伸びているほか、旅行商品販売実績も増加している。
- ・韓国旅行会社が「国際まんが博」を組み込んだ旅行商品を造成し、656名送客するとともに、中国からのチャーター便の就航にも繋がった。また、台湾チャーター便のコースに「国際まんが博」が設定されたことにより台湾からの観光客が増加した。
- ・ある大手宿泊サイトによると「国際まんが博」期間中の県内宿泊者数の実績は堅調に推移している。(対前年比 8月：104%、9月：108%、10月109%)

<人材育成、教育活用>

- ・まんが教室の開催や故事成語4コマ漫画のコンクール、古事記を題材にしたイラストのコンテストなどが実施され、小中高生が自らまんがを描いてみる取組が県内各地に盛り上がってきた。
- ・県下の約半数の高校が参加して、「高校生まんが王国とっとり応援団」が結成され、まんが家を招いての似顔絵描き教室開催や国際マンガサミット会場での作品展示、鳥取を題材にした合同作品集の刊行などに取り組みされた。また、この応援団は平成27年度に鳥取県で開催される近畿高等学校総合文化祭への参加を視野に今後も活動を継続する。

<産業振興、商品開発>

- ・米子市内に空店舗を再活用した「アルファービル」が完成し、まんが・イラストの制作会社（株）ラ・コミックが入居するとともに、（株）ガイナックス（アニメ制作など）の直営店や株式会社スター（人形制作）が進出した。
- ・食のまんが家との協働により新たに描き下ろしたまんが絵の包装紙を使用した駅弁が開発され、販売された。
- ・国際マンガサミットに参画いただいたまんが家と地元の料理家との協働による新たな名物料理の開発が行われ、同サミット会場でお披露目された。
- ・平成25年1月には、デジタルハリウッド株式会社が米子市で「デジタルハリウッドSTUDIO 米子」を開設し、若手の育成に着手する予定である。

<情報発信>

- ・東京での「AKIBA で探すまんが王国」や大阪での「NHKイベント」に積極的に参加し、まんが王国ととりのPRを行った
- ・タレントのトリンドル玲奈さんとタイアップし「まんが王国とっとり」の全国的PRを実施した。「めざましテレビ」など大手キー局の情報番組で取り上げられ、8月4日の開幕式はNHKのニュースでも取り上げられた。

<まんが家等とのネットワーク>

- ・国際まんが博のイベントを通じ、鳥取県出身のまんが家や最近デビューされたまんが家などとの新たなパイプができた。
 - 8月 藤原芳秀さん（藤原芳秀原画展／渡辺美術館）
 - 10月 長谷川洋さん（ANIME空間にちなんタウン／日南町美術館）
 - 10月 赤互もどむ（古代王国ナギサプロムナード／皆生温泉）
- ・米子市在住まんが家寺西竜也さんを中心に県内まんが家のネットワーク「描くひと」が立ち上がった。

<他県等との連携>

- ・高知県や川崎市から、今後、まんがを軸とした連携を図っていこうとの提言が持ちかけられてきた。

2. 今後の取組方向

◆まちづくり、観光振興面の取組

- ・まんが王国とっつりの新たな拠点の整備や境港市、北栄町など地域拠点の拡充支援について検討
- ・国際まんが博のノウハウ、人脈等を活かした「ポストまんが博」の開催
- ・まんがイラスト列車を活用した県内周遊や温泉、食など既存の観光資源と連携した魅力ある旅行商品造成の働きかけ

◆まんが・アニメ関連産業振興面の取組

- ・米子アルファビルなど民間実施団体との連携強化
- ・まんがと食の連携商品などまんが・アニメを活用した新たな商品開発等の継続支援

◆人材育成や教育活用面の取組

- ・国際マンガコンテストの継続実施
- ・漫画故事成語の副教材活用の推進

◆まんがを活用した情報発信面の取組

- ・まんが王国とっつり通信の発行、県政だより表紙へのまんが活用の継続
- ・韓国、台湾など海外マンガイベントへの出展
- ・高知県、川崎市、京都国際マンガミュージアムなど関係自治体・団体との連携強化

「まんが博・乙」の開催結果について

平成25年9月12日
まんが王国官房

昨年の「国際まんが博」、「国際マンガサミット鳥取大会」の成果を踏まえ、県内外の漫画家とのネットワーク、他の自治体等との連携を図りながら「まんが王国とっとり」のソフトパワーを大きく発信する「まんが博・乙」を下記のとおり開催した。

記

- 1 開催期間 7月13日(土)～8月25日(日)
- 2 開催場所 倉吉市、北栄町(一部催事は、鳥取市、境港市等でも開催)
- 3 開催結果等
 - 倉吉未来中心や北栄町出合いの広場などで開催した「まんが博・乙」の来場者は約10万8千人。特にお盆の頃から来場者数が増加傾向にあった。
 - 「水木しげるの戦争と新聞報道展」や「テレビアニメ50年展」などの歴史物の展示が好評だった。
また、明治大学マンガ図書館連携企画展「内記稔夫・日本初のマンガ図書館をつくった男」など専門的な展示はファンに好評だった
 - 体験型アトラクション「名探偵コナンアクションパーク」は、7月の悪天候の影響があったものの、8月20日には来場者2万人を超えるなど好評であった。
また、来場者の約3割が県外客であった。
 - ステージイベント「名探偵コナンまつり in まんが王国とっとり」には、県外からも多くのファンが駆けつけて大勢の来場者となり、コナン人気は、依然根強いものであった。
 - 香港チャーター便の観光客も、倉吉未来中心の「なしっこ館」を訪問した際に、ポーズを取るだけでまんがの世界に入り込む「瞬刊少年マルマル」を体験し好評だった。
 - 中部地域の旅館を中心に、名探偵コナン巨大迷路無料券を配布したところ、約1割の宿泊客の来場があった。
 - とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会(構成:県・中部市町)では、「まんが博・乙」と連携して、まんが博・乙会場のスタンプラリー、温泉施設や地元飲食店(アイスクリーム)の割引クーポン配布など、中部地域の周遊を促した。
 - 高知県及び川崎市から「まんが博・乙」への出展が行われるとともに、本県からもそれぞれの地域のまんがイベントに出展するなど、昨年度から始まった地域連携が一層進んだ。

鳥取県に関するイメージ調査

平成26年2月

1. 調査概要

- 調査目的 首都圏など14都府県在住者を対象に、本県のイメージや地域資源の認知度、観光・余暇等を把握する。
- 調査名 鳥取県に関するイメージ調査
- 調査地域 ①首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県) ②関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)
③中京(愛知県) ④中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県)
⑤九州圏(福岡県)
- 調査方法 インターネット調査
- 対象者 上記エリアに居住する、10代以上の男女個人
- 回収数 5,400サンプル
①首都圏(2400ss) ②関西圏(900ss) ③中京(300ss)
④中国・四国(1500ss) ⑤九州圏(300ss)
- 実施期間 2013年12月19日(木)～12月24日(火)
- 実施機関 大手インターネットリサーチ会社

2. 対象者プロフィール①

		エリア(居住地)													
		東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	愛知県	大阪府	兵庫県	京都府	広島県	岡山県	愛媛県	香川県	徳島県	福岡県
2011年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2012年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6
2013年全体	(5400)	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6	5.6

【対象者:全員】

		性別		
		男性	女性	
2011年全体	(5400)	50.0	50.0	
2012年全体	(5400)	50.0	50.0	
2013年全体	(5400)	49.9	50.1	
エリア	首都圏	(2400)	50.0	50.0
	関西圏	(900)	50.0	50.0
	中京	(300)	48.0	52.0
	中国・四国	(1500)	50.0	50.0
	九州圏	(300)	50.0	50.0

【対象者:全員】

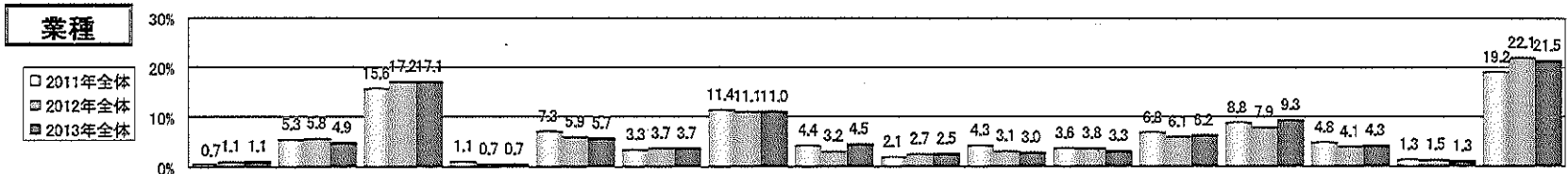
		年代						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	
2011年全体	(5400)	13.0	20.3	16.7	16.7	16.7	16.7	
2012年全体	(5400)	11.0	22.3	16.7	16.7	16.7	16.7	
2013年全体	(5400)	9.3	23.6	17.1	16.7	16.7	16.7	
エリア	首都圏	(2400)	10.1	23.0	16.9	16.7	16.7	16.7
	関西圏	(900)	12.3	21.0	16.7	16.7	16.7	16.7
	中京	(300)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
	中国・四国	(1500)	3.9	28.3	17.9	16.7	16.7	16.7
	九州圏	(300)	13.3	20.0	16.7	16.7	16.7	16.7

【対象者:全員】

2. 対象者プロフィール②

職業		(%)										
(n)		自営業	会社役員・団体役員	会社員	公務員・団体職員	パート・アルバイト	学生	専業主婦/主夫	無職	その他		
2011年全体	(5400)	6.2	2.5	31.7	5.4	10.7	15.3	17.3	8.8	2.0		
2012年全体	(5400)	7.0	3.0	31.1	4.5	11.7	13.3	17.4	9.5	2.5		
2013年全体	(5400)	6.4	2.6	34.3	5.9	12.4	10.7	16.7	9.0	2.1		
エリア	首都圏	(2400)	6.4	2.7	36.0	3.8	12.4	11.3	17.2	8.2	2.1	
	関西圏	(900)	5.8	2.4	33.1	5.7	12.0	13.4	16.8	9.2	1.6	
	中京	(300)	6.7	3.3	32.3	6.7	13.0	13.3	13.7	8.3	2.7	
	中国・四国	(1500)	6.7	2.4	33.7	8.9	12.5	7.1	16.5	9.9	2.3	
	九州圏	(300)	6.7	3.3	29.3	6.7	12.0	13.0	16.3	11.7	1.0	

【対象者:全員】



業種		(%)																
(n)		農林水産業	建設業	製造業	エネルギー関連	通信・IT関連	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産業	研究機関、専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉関連	政府・団体等	広告・出版・放送業	その他	
2011年全体	(3163)	0.7	5.3	15.6	1.1	7.3	3.3	11.4	4.4	2.1	4.3	3.6	6.8	8.8	4.8	1.3	19.2	
2012年全体	(3229)	1.1	5.8	17.2	0.7	5.9	3.7	11.1	3.2	2.7	3.1	3.8	6.1	7.9	4.1	1.5	22.1	
2013年全体	(3436)	1.1	4.9	17.1	0.7	5.7	3.7	11.0	4.5	2.5	3.0	3.3	6.2	9.3	4.3	1.3	21.5	
エリア	首都圏	(1522)	0.7	4.6	17.0	0.7	7.7	3.9	10.2	5.7	2.4	3.4	2.7	5.4	8.1	3.4	1.7	22.5
	関西圏	(545)	0.2	4.2	16.7	0.6	2.8	3.7	11.2	4.2	2.2	2.9	4.4	7.7	11.4	4.4	0.9	22.6
	中京	(194)	1.5	6.2	22.7	0.5	5.2	3.1	8.8	3.1	4.1	3.6	3.6	6.2	5.2	4.1	2.6	19.6
	中国・四国	(998)	2.3	4.8	17.6	0.8	4.3	3.6	11.8	3.6	2.3	2.4	3.2	6.5	10.4	5.6	0.8	19.8
	九州圏	(177)	1.1	8.5	10.2	0.6	5.6	3.4	14.7	1.1	2.8	2.3	4.5	7.3	11.9	5.6	-	20.3

【対象者:有職者】

1-12

2. 対象者プロフィール③

世帯年収		(n)							(%)	
		~100万円未満	100万円以上~ 300万円未満	300万円以上~ 500万円未満	500万円以上~ 700万円未満	700万円以上~ 1,000万円未満	1,000万円以上~ 1,500万円未満	1,500万円以上		
2011年全体	(5400)	10.0	16.6	27.3	19.4	15.7	8.0	3.0		
2012年全体	(5400)	11.8	17.5	25.9	18.9	15.9	7.6	2.5		
2013年全体	(5400)	8.2	16.9	27.2	19.8	17.1	8.0	2.8		
エリア	首都圏	(2400)	8.0	14.3	24.5	21.1	18.5	10.1	3.5	
	関西圏	(900)	9.1	18.8	27.4	18.7	17.9	6.2	1.9	
	中京	(300)	6.3	16.3	23.7	20.3	20.7	8.7	4.0	
	中国・四国	(1500)	8.3	19.4	31.7	18.3	14.4	5.9	2.0	
	九州圏	(300)	9.3	21.3	28.7	18.7	13.7	6.3	2.0	

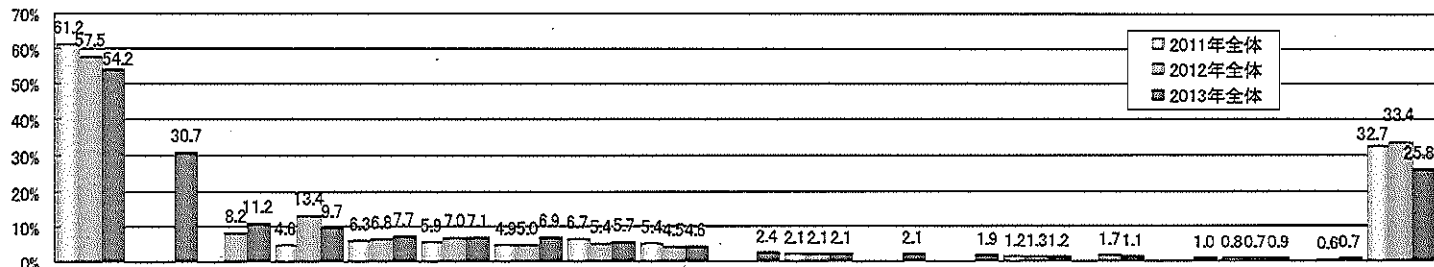
【対象者: 全員】

1-13

3-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題

- ◆ 最近の『鳥取県』に関する話題で聞いたことがあるものは、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(54%)が突出している。次いで、新規項目の「スターバックスが全国で唯一無い県」(31%)が続く。以下、「全天候型砂像展示施設「砂の美術館」グランドオープン」(11%)、「まんが王国とっとり」(10%)、「山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟」(8%)などが1割前後で続く。
- ◆ 時系列でみると、「ひとつもない」が2012年に比べて8ポイント減。なお、話題性断トツの「ゲゲゲのふるさと鳥取県」に関しては微減傾向。
 - > エリア別にみると、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」は中国・四国で特に高い。また、関西圏で「山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟」が高くなっている。

Q8. 最近の鳥取県の話題に関するものです。あなたが聞いたことのあるもの全てを選んでください。(いくつでも)



(n)		鳥取県	ゲゲゲのふるさと	無	スターバックスが全国で唯一	美術館「砂の美術館」グランドオープン	まんが王国とっとり	山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟	大山高原スマートIC(米子自動車道)の開通	鳥取自動車道(姫路鳥取線)の全線開通(無料)	山陰で唯一のJ加盟サッカークラブ「ガイナレ鳥取」	食のみやこ鳥取県	線の新規就航	鳥取方式の芝生化	写真家 植田正治生誕100年	第30回全国都市緑化とっとりフェア(水と緑のオアシスとっとり2013)の開催	子育て王国とっとり	鳥取美人物語	全国初となる手話言語条例の制定	環日本海圏航路(北東アジアゲートウェイ)	とっとりグリーンウェイブ	ひとつもない	(%)
2011年全体	(5400)	61.2	54.2	0	30.7	8.2	13.4	6.3	5.9	4.9	6.7	5.4	2.4	2.1	2.1	1.9	1.2	1.7	1.0	0.8	0.6	32.7	
2012年全体	(5400)	57.5	54.2	0	30.7	11.2	9.7	6.8	7.0	5.0	5.4	4.5	2.1	2.1	2.1	1.2	1.3	1.7	1.0	0.7	0.6	33.4	
2013年全体	(5400)	54.2	54.2	0	30.7	4.6	9.7	7.7	7.1	6.9	5.7	4.6	2.4	2.1	2.1	1.9	1.2	1.1	1.0	0.9	0.7	25.8	
エリア	首都圏	(2400)	44.2	0	29.8	7.3	6.3	4.0	3.0	3.7	4.8	5.4	2.8	2.0	1.8	1.2	1.5	1.2	0.9	1.1	0.7	33.5	
	関西圏	(900)	61.3	0	31.9	14.0	13.2	18.2	9.6	12.3	4.2	5.3	2.2	2.2	1.8	1.9	0.8	1.2	0.8	1.0	0.9	18.8	
	中京	(300)	51.3	0	27.0	9.0	4.3	2.7	2.3	4.0	4.7	3.0	1.7	2.3	2.0	0.3	0.7	1.3	1.0	1.0	0.3	28.7	
	中国・四国	(1500)	68.4	0	33.5	16.9	15.3	9.3	14.2	10.0	8.5	3.6	2.2	2.5	2.9	3.3	1.3	0.9	1.3	0.6	0.7	15.8	
九州圏	(300)	45.0	0	24.7	7.7	5.0	2.3	3.0	3.3	5.3	3.0	2.3	1.0	1.0	1.3	1.0	1.0	0.3	0.3	0.3	32.3		

※「鳥取自動車道(姫路鳥取線)の全線開通(無料)」は、2011年は「鳥取自動車道の県内区間無料開放」で聴取

【対象者:全員】

※「大山高原スマートIC(米子自動車道)の開通」は、2011年は「スマートICの開通大山高原」で聴取。「山陰で唯一のJ加盟サッカークラブ「ガイナレ鳥取」」は、2011年・2012年は「ガイナレ鳥取のJ2リーグ昇格」で聴取。

まんが王国とっとり第3回元老院議会の開催結果について

平成26年4月21日
まんが王国官房

建国2年目を迎えた「まんが王国とっとり」の国づくりを進めていくに当たって、知識と経験を持つ有識者との意見交換を行うため、次のとおり第3回元老院議会を開催しました。

1 日 時 平成26年3月25日(火)

2 場 所 とりぎん文化会館 第3会議室

3 参集範囲 知事、元老院顧問・議員等

4 経 緯

○平成25年5月21日(火)、県庁にて第1回元老院議会を開催し、国づくりの基本的な方向性を確認し、「まんが王国とっとり国づくり構想(仮称)」を策定することとした。

○8月26日(月)に倉吉市内、同28日(水)に東京都内にて、まんが王国とっとり「車座まんが談義」を開催し、第1回議会の開催結果を踏まえて議論した。

○11月7日(木)、わらべ館にて第2回元老院議会を開催し、「まんが王国とっとりチャレンジプラン(仮称)の骨子(案)」に基づいて意見交換を行った。

5 概 要

○建国3年目を迎えるに当たって、まんが王国ととりの発展に向けた課題や方策を明らかにするために策定する「まんが王国とっとり国づくりチャレンジプラン(案)」について、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・まんがに取り組んでいる人とそうでない人の温度差がある。県民全体では、まんがに取り組む必要があるのか、と懐疑的な見方がある。まんがが地元で根づいて理解されるように取り組むべき。
 - ・県民の理解が大前提で、そこから先に観光誘客などの取組がある。まんがの採用による売上の増加、まんがを目的とした観光による経済効果、まんがの活用による教育効果などを示して県民の理解を得ていくべき。
 - ・プロをめざす人たち向けではなく、一般のかたをぐっと惹きつけるようなPRをするべき。
 - ・県民の理解があれば、まんがを目的とした観光客のおもてなしが向上するのではないか。
 - ・説明には、まんが王国憲章など、めざす方向性が分かりやすく宣言されているスローガンが必要ではないか。
 - ・実益のあがる取組と併行させて、活動を支える本当にまんがの好きな人づくりなど、すぐに成果のでない取組も進めていけばよいのではないか。
- 意見交換の結果を踏まえて修正して最終案を確定させ、パブリックコメントを経て公表することとした。

まんが王国とっとり元老院議会メンバー一覧

区分	氏名等	備考(第3回議会出席者)
顧問	ちば てつや	
	里 中 満智子	
	赤 井 孝 美	出席
議員	河 原 正 彦 (鳥取環境大学副理事長)	
	住 川 英 明 (鳥取大学地域学部教授)	出席
	白 井 利 光 (明治大学調査役)	
	小 坂 俊 夫 (京都国際マンガミュージアム)	出席
	原 口 尚 子 ((株)水木プロダクション代表取締役)	出席
	寺 西 竜 也 (コンテンツ産業関係者)	出席
	木 谷 清 人 ((公財)鳥取市文化財団理事長)	
	岸 田 寛 昭 (NPO未来理事長)	
	久保田 孝 ((株)DARAZ代表取締役)	出席
	大 田 斉 之 (鳥取市経済観光部長)	出席(代理)
	大 江 淳 史 (米子市経済部長)	
	片 山 暢 博 (倉吉市企画振興部長)	出席
	伊 達 憲太郎 (境港市産業部長)	出席(代理)
	松 本 昭 夫 (北栄町長)	出席
	細 羽 正 (鳥取県文化観光局長)	出席
事務局	前 田 修 (鳥取県文化観光局まんが王国官房長)	出席

(平成26年3月25日現在)

「まんが王国とっとり国づくりチャレンジプラン」(案)の概要

1 目的

建国3年目を迎えるに当たって、まんが王国とっりの発展に向けた課題や方策を明らかにする。

2 国づくりの基本的な考え方

- 国際まんが博等の意義を確認し、その成果を引き継いでいく。
- 将来(10~20年後)の姿をイメージしながら、まんがの持つパワーを活用する。

<将来の姿>

- ・観光客にとって「まんが王国とっとり」は、まんがを活用したイベントがたくさん催され、まんがゆかりのスポットがにぎわい、江戸時代のお伊勢参りのように、一度は訪れたい旅の目的地になっている。
- ・国際漫画祭の開催されるフランスのアングレーム市のように、日本では、まんがといえば鳥取県であることを世界中の誰もが認知している。

<まんがの持つパワー>

水木しげる先生、谷口ジロー先生、青山剛昌先生などの著名な漫画家の作品を活用した取組の素地に加え、次のようなまんがの持つパワーをいろいろな分野に活用する。

- ・まんが自体の面白さ
- ・マンガ表現(まんが独特の表現手法)
- ・まんがの多方面での可能性

<アプローチとアイデア>

「文化振興・観光誘客」「人間形成・産業育成」の2つの側面からアプローチする。それぞれについて、アイデアを整理する。

3 国づくりへのアイデア

(1) 文化振興・観光誘客

- 他に先駆けて、マンガ文化を集積・発信するとともに、将来に伝承する。
- まんがを一層活用し、オンリーワンの観光地として、魅力向上を図る。

ア マンガ原稿アーカイブの整備

- ・北東アジアゲートウェイ構想を掲げ、大交流時代を先導する鳥取県として、世界的に価値のある日本のマンガ文化の保護・振興に貢献することのできる有力な選択肢。

イ “まんがの聖地”化による観光誘客

- ・水木しげるロード等、市町村・民間の開発したゆかりの地ならではのおもてなしメニューを応援する。
- ・地元で誕生し、実績を積み重ねてきたイベントを応援し、それぞれの分野における日本一をめざして、新たな“まんがの聖地”づくりに皆で力をあわせて取り組む。
- ・「国際マンガサミット」等で人脈を築いた漫画家等の皆さんの協力を得て、絶えず新しい魅力を創出し続ける。
- ・聖地化に取り組む地域、まんが関連施設による広域的な連携を促進し、観光魅力を組み合わせて楽しさを増幅させ、まんがを目的とする観光客の増加を図る。

ウ 海外インバウンドの促進

- ・鳥取県ゆかりのマンガを活用して、外国人観光客を呼び込む。
- ・サブカルゲートウェイをめざす。（環日本海地域・東南アジアから世界制覇へ）

エ「国際マンガコンテスト」の開催

- ・国際マンガコンテストを引き続き開催し、海外を含む世界のマンガ文化の発展に貢献する。

オ クールジャパン・クールトットリの情報発信

- ・マンガ表現による広報宣伝を推進する。
- ・鳥取県の観光スポット、特産品、グルメ等を探りあげた作品によって、情報発信を実施する。
- ・クールジャパンのなかでもクールな鳥取県として認知されるように海外へも積極的に情報発信する。

(2) 人間形成・産業育成

- マンガの持つパワーを活用して、心ゆたかにコミュニケーションできる人間・人材を育成する。
- クールジャパンとして世界的に認知され、今後さらなる成長が見込まれるマンガ関連産業を育成・振興する。

ア まんが王国とっとりトキワ荘（仮称）

- ・県内外の漫画家等（の卵）が横につながりあえる機会をつくり、そこに集い切磋琢磨して研鑽を積むことができる環境をつくる。
- ・企業団体等に対し、漫画家等を新たに雇用するよう働き掛ける。
- ・著名な漫画家のかたを招いてワークショップを開催する。
- ・鳥取県ゆかりの漫画家等（の卵）が単独または共同で創作した優れた作品の出版を支援する。

イ まんがの地産地消・地産他消の促進

- ・【地産地消】
鳥取県、県内市町村、民間等のマンガ表現（まんが独特の表現手法）を使った情報発信の需要を掘り起こし、「鳥取県版トキワ荘（仮称）」の漫画家等とのビジネスマッチングを行う機会をつくる。
- ・【地産他消】
アルファビル、まんが王国とっとり秋葉原倶楽部の運営を支援し、県外や海外への市場開拓を図る。

ウ 教育現場におけるマンガの活用

- ・児童・生徒が楽しみながら学び、理解が促進され、また、表現能力やコミュニケーション能力を向上させるようにするため、学習プログラムやテキスト等にマンガによる表現を採り入れる。
- ・授業は出前講座として位置づけ、地元で活動している漫画家等が出講する。

4 アイデアの実現のために

- 県民がふるさと鳥取県を「まんが王国とっとり」だと自慢できるようになり、そのような「まんが王国とっとり」国民の増加によって、国づくりの取組を増幅させていく。
- 県民、行政（鳥取県及び県内市町村）、民間、漫画家等が共通の目的意識を持って、まんがで活力ある国づくりを推進する。
- 柔らかい頭で突飛な提案でもどんどん採り入れていく姿勢で熱意を持ってとことん取り組む。
- 毎日のように県内各地にまんが関連の情報があふれ、常に世界へ情報発信している「まんが王国とっとり」をめざす。